

◎ 3月上旬の水温・塩分・透明度の状況

水温：表層・「甚だ高め」・底層「甚だ高め」、塩分：表層「平年並み」・底層「平年並み」、透明度：「甚だ高め」

● 小型底びき網

石桁網（中部標本組合）

表示基準：20%以内の増減を同程度＝、20%以上の増減を増加↑、減少↓として示した

| 魚種名 | 漁獲の状況 | | | 図の番号 |
|-------|----------|---------|---------|------|
| | 平年値と比較して | 昨年と比較して | 先月と比較して | |
| シタ類 | 多い ↑ | 減少 ↓ | 同程度 = | 1 |
| マコガレイ | 少ない ↓ | 同程度 = | 増加 ↑ | 2 |
| ヒラメ | 多い ↑ | 増加 ↑ | 増加 ↑ | 3 |
| ネズツポ類 | 多い ↑ | 減少 ↓ | 増加 ↑ | 4 |
| オニオコゼ | 多い ↑ | 減少 ↓ | 同程度 = | 5 |
| ガザミ | 少ない ↓ | 減少 ↓ | 減少 ↓ | 6 |
| アカガイ | 多い ↑ | — | 減少 ↓ | 7 |
| トリガイ | 少ない ↓ | — | 減少 ↓ | 8 |

図1

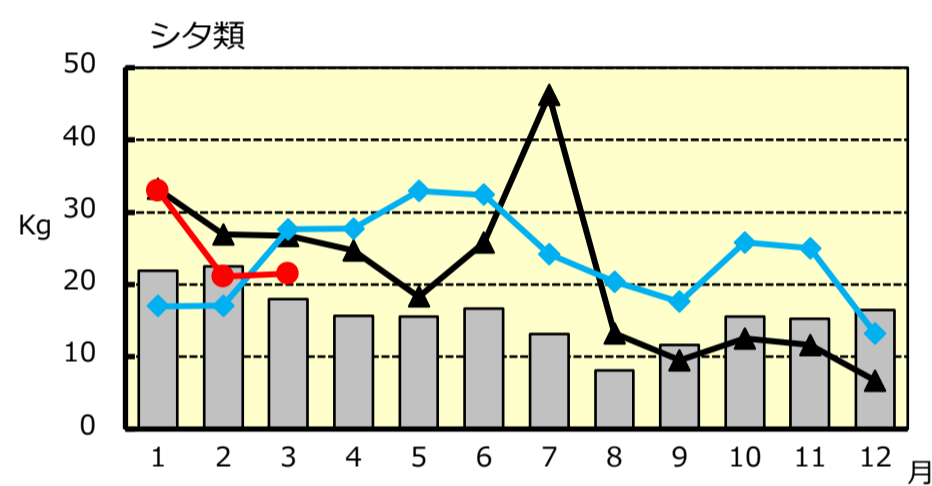


図2

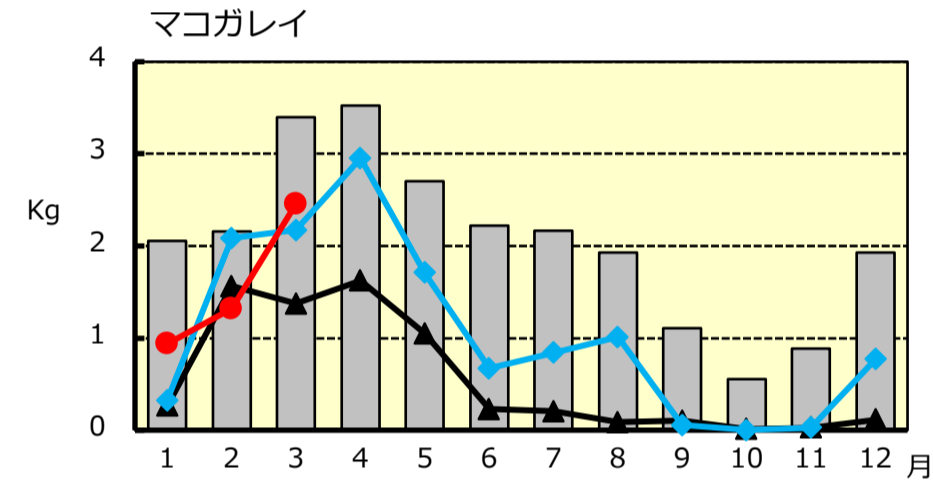


図3

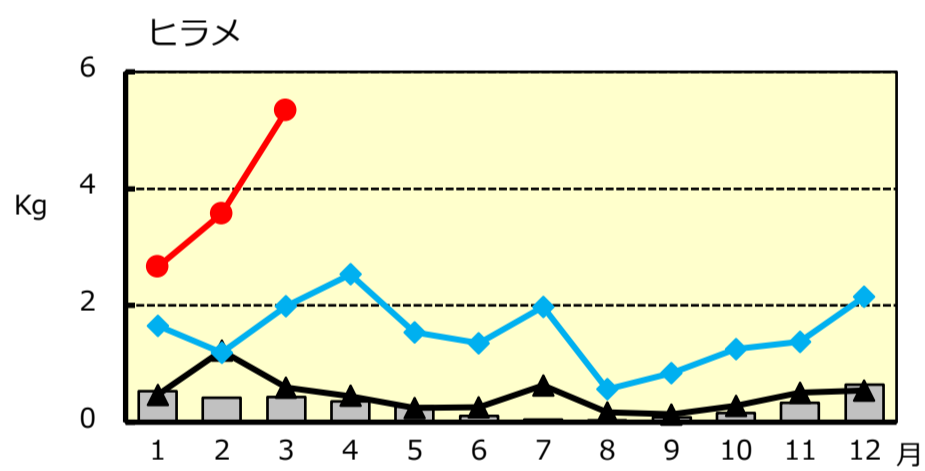


図4

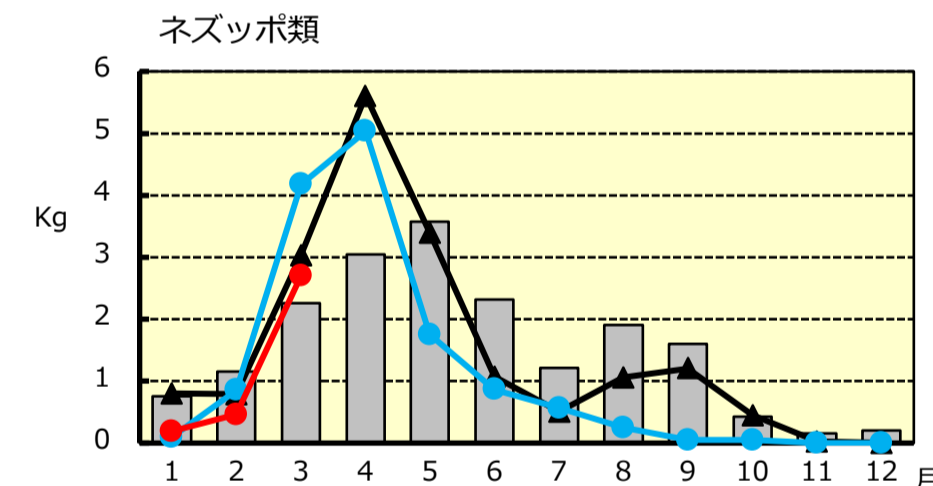


図5

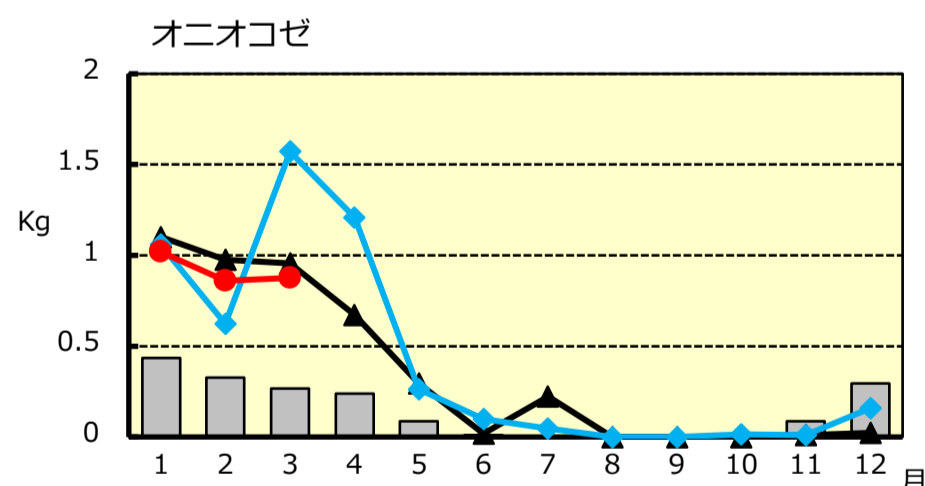


図6

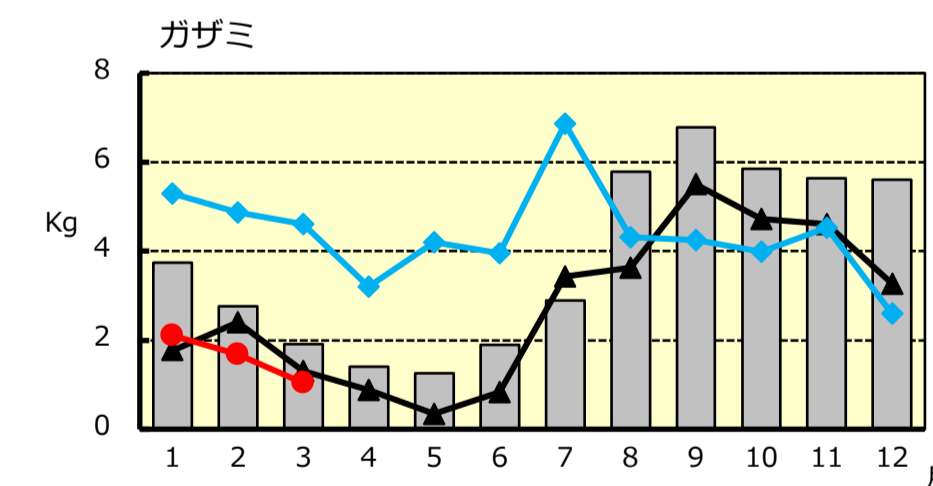


図7

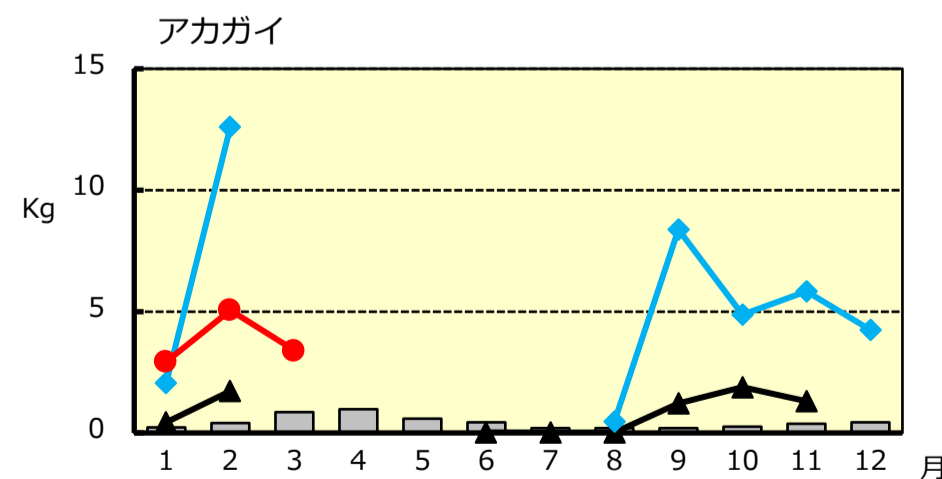
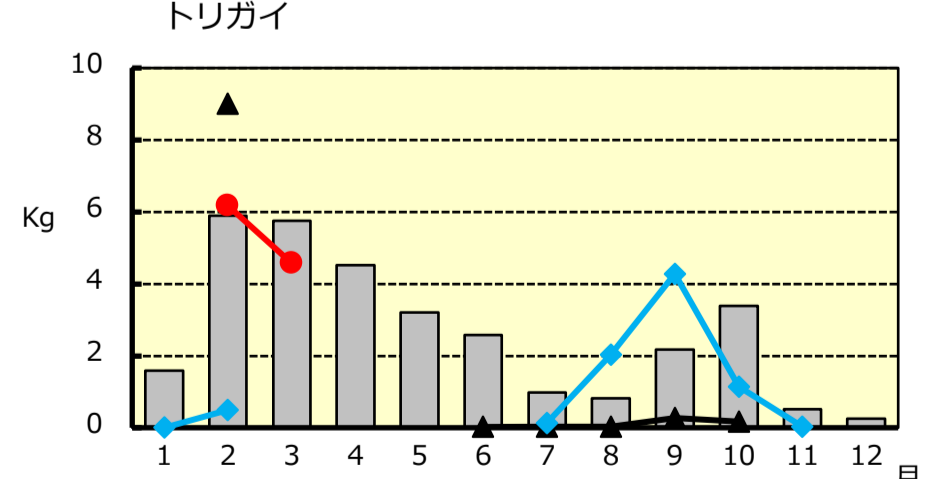


図8



図は1日1隻当たりの漁獲量 (kg) を示す

■ 平年値 ● 2020年 ◆ 2019年 ▲ 2018年

※2004年から2014年の平均値

板びき網（中部標本組合）

表示基準：20%以内の増減を同程度＝、20%以上の増減を増加↑、減少↓として示した

| 魚種名 | 漁獲の状況 | | | 図の番号 |
|-------|----------|---------|---------|------|
| | 平年値と比較して | 昨年と比較して | 先月と比較して | |
| イワシ類 | 少ない ↓ | 増加 ↑ | 増加 ↑ | 9 |
| アジ類 | 多い ↑ | 減少 ↓ | 同程度 ＝ | 10 |
| クロダイ | 多い ↑ | 増加 ↑ | 同程度 ＝ | 11 |
| スズキ | 少ない ↓ | 減少 ↓ | 減少 ↓ | 12 |
| タチウオ | 多い ↑ | 増加 ↑ | 減少 ↓ | 13 |
| コウイカ類 | 多い ↑ | 減少 ↓ | 増加 ↑ | 14 |

図9

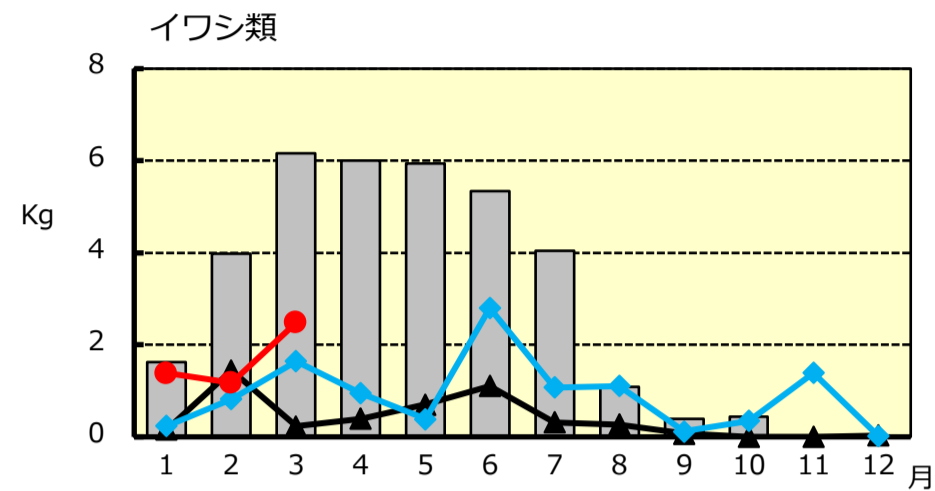


図10

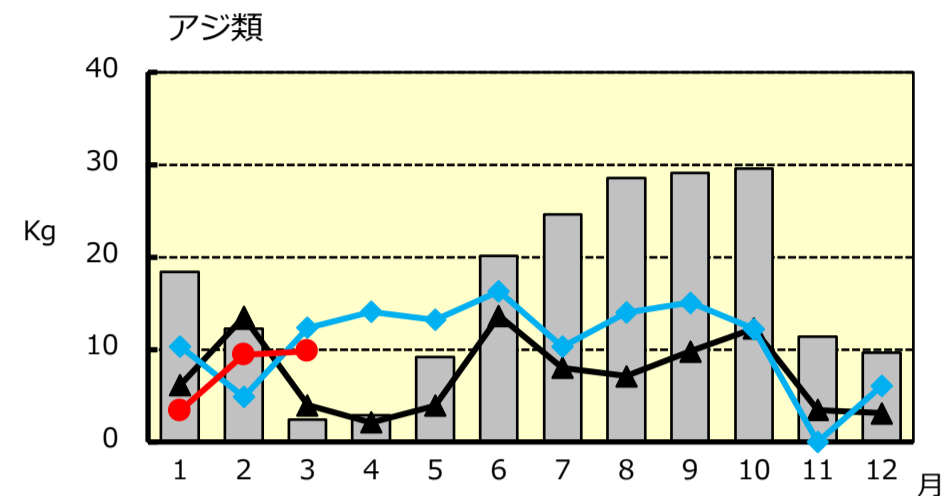


図11

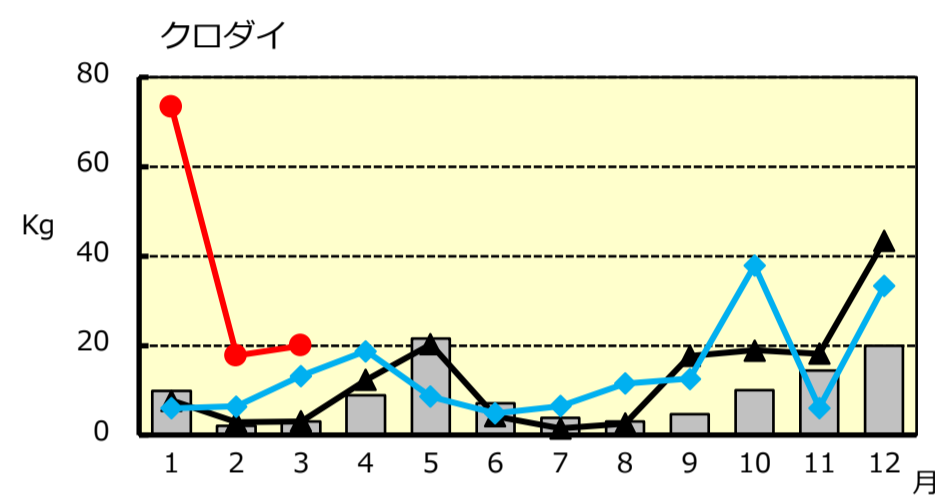


図12

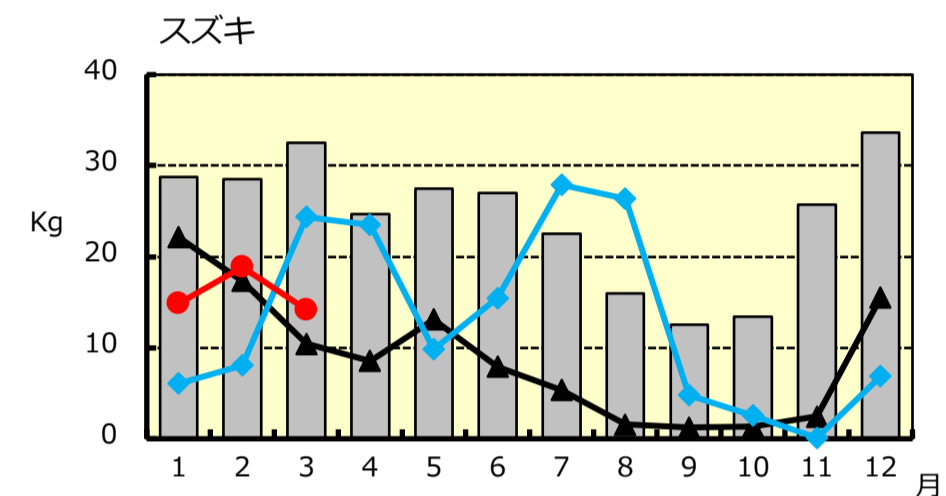


図13

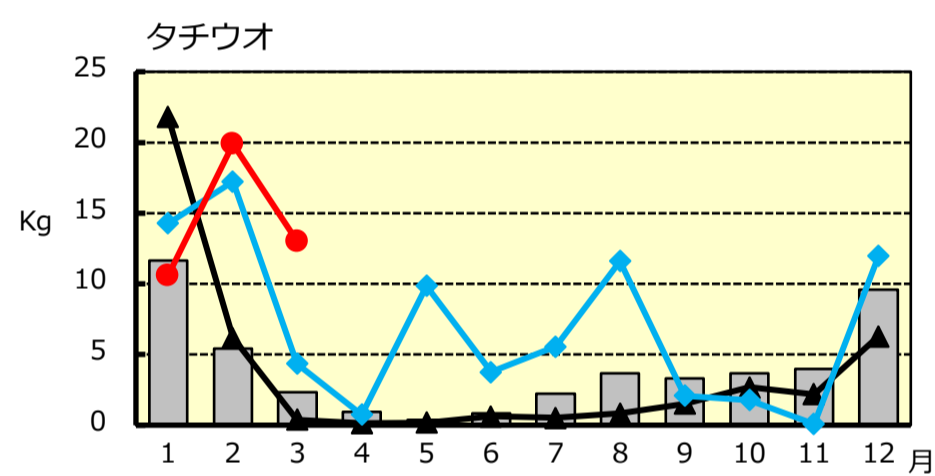
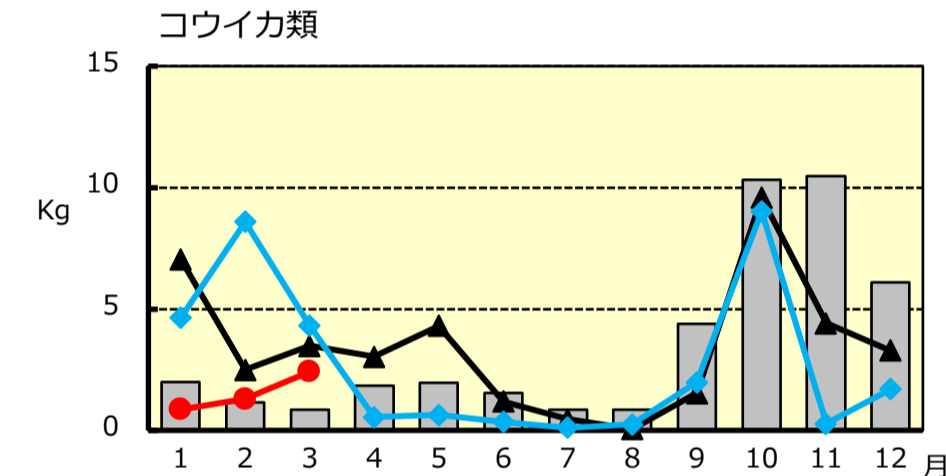


図14



板びき網（南部標本組合）

表示基準：20%以内の増減を同程度＝、20%以上の増減を増加↑、減少↓として示した

| 魚種名 | 漁獲の状況 | | | 図の番号 |
|--------|----------|---------|---------|------|
| | 平年値と比較して | 昨年と比較して | 先月と比較して | |
| マダイ | 多い ↑ | 同程度 ＝ | 減少 ↓ | 15 |
| ウマツラハギ | 多い ↑ | 減少 ↓ | 増加 ↑ | 16 |
| メイタガレイ | 少ない ↓ | 増加 ↑ | 減少 ↓ | 17 |
| マダコ | 少ない ↓ | 同程度 ＝ | 増加 ↑ | 18 |

図15

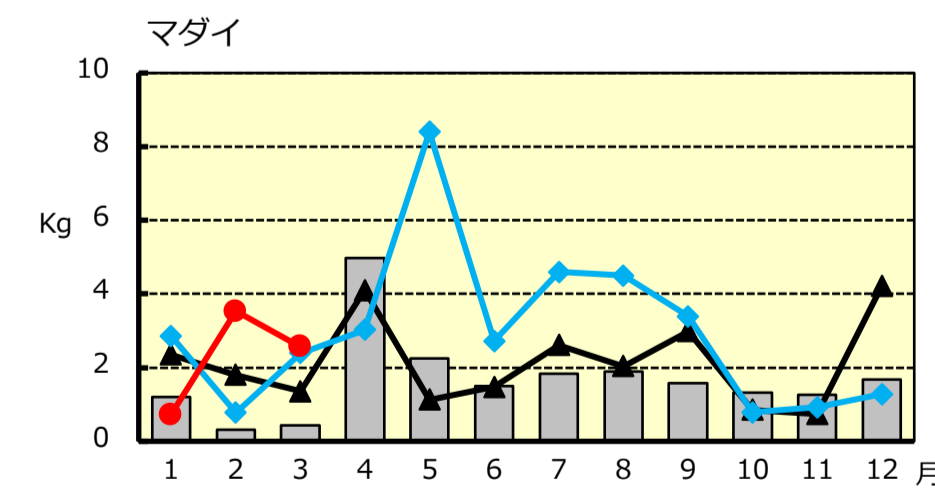


図16

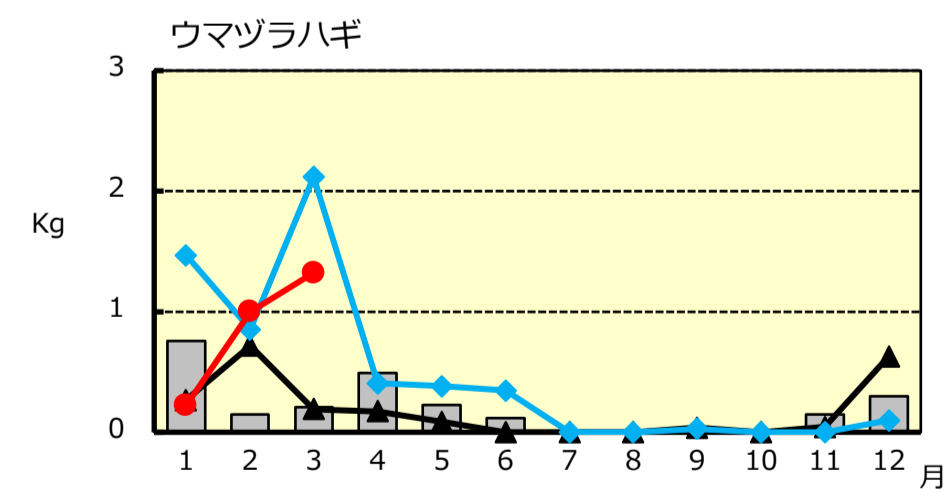


図17

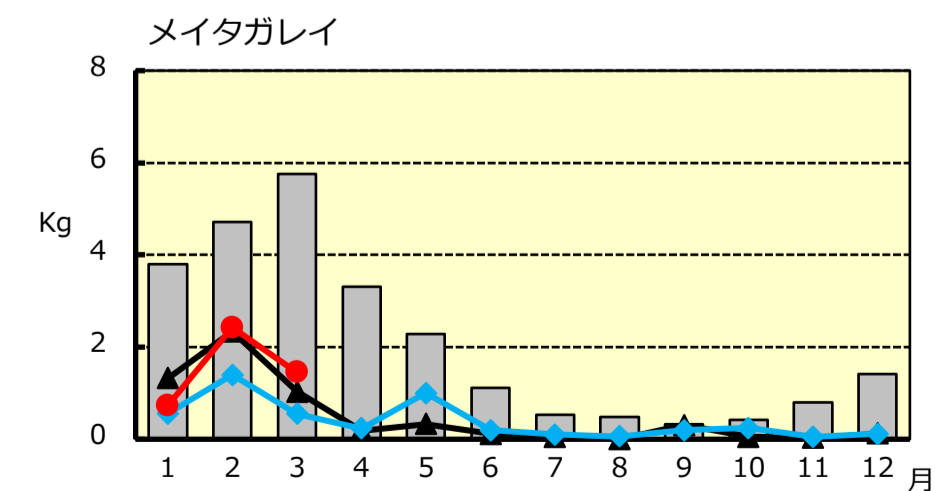
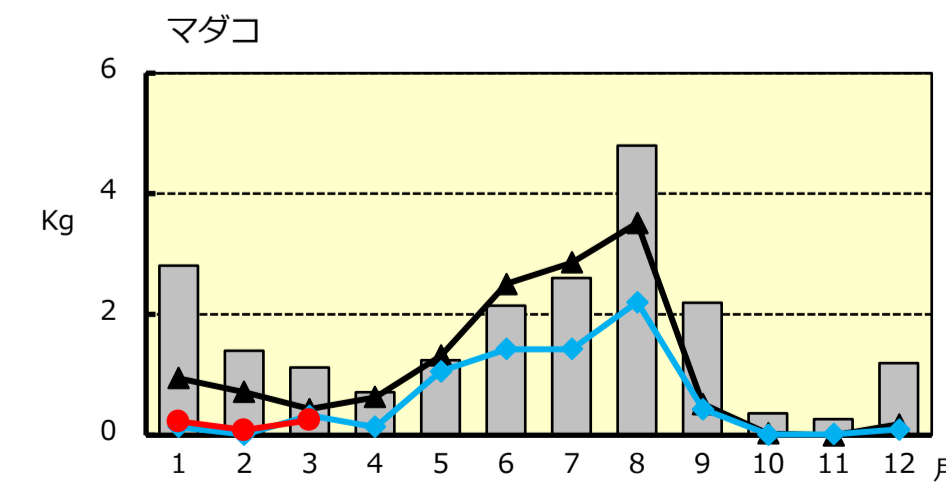


図18



1日1隻当たりの漁獲量 (kg) を示す

■ 平年値 ● 2020年 ◆ 2019年 ▲ 2018年

※2004年から2014年の平均値